

氏名 角田 均 (TSUNODA Hitoshi)

所属 ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科

職種 教授

生年月日 1965 年 2 月 4 日

**[履 歴]**

**[学 歴]**

1989 年 3 月 大阪市立大学理学部卒業

1991 年 3 月 大阪市立大学大学院前期博士課程終了

1994 年 3 月 大阪市立大学大学院後期博士課程単位取得退学

1994 年 4 月 大阪大学核物理研究センター研究員

**[学 位]**

1995 年 9 月 博士(理学)

**[職 歴]**

1995 年 4 月 大阪大学核物理研究センター非常勤講師

1996 年 4 月 青森大学工学部情報システム工学科助手

2003 年 4 月 青森大学工学部情報システム工学科講師

2004 年 4 月 青森大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科講師

2006 年 4 月 青森大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科助教授

2007 年 4 月 青森大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科准教授

2013 年 4 月 青森大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科教授

**[受 賞]**

特記事項なし

**[所属学会]**

物理学会、情報処理学会、リモートセンシング学会、写真測量学会、芸術科学会、水環境学会

**[教育活動]**

**[担当科目]**

ソフトウェア情報学部：プログラミング演習 I、プログラミング演習 II、情報リテラシー、ソフトウェア情報学基礎ゼミナール A、ソフトウェア情報学基礎ゼミナール B、データベース、創作ゼミナール、卒業研究

総合経営学部、社会学部：情報リテラシー

**[卒業研究指導]**

2020 年度 3 名

2021 年度 4 名

2022 年度 8 名

2023 年度 5 名

2024 年度 4 名

### [ゼミ指導]

ソフトウェア情報学部学習アドバイザーとして1年生17名、4年生4名を担当

### [教育指導に関する特記事項]

1. 学部のプログラミング教育の再構成と学生のプログラミング能力向上を目指して、1～2年生の中心科目として「プログラミングワークショップ I, II, III, IV」を提案、2007年度から実施。入学時より2年間、週2回ずつ、少人数のゼミ形式やグループワークを積極的に取り入れて、プログラミング教育の質向上を目指す。
2. 大学入学時における導入教育として、入学直後の最初の1週間の専門科目の1コマ目すべてを使った初年次教育の取り組みを提案、2008年度から実施。最初のタイミングでの学習意欲の向上や、グループワークによるコミュニケーション能力の向上を目指すとともに、学生同士、または教員との交流を深めることで孤立化やドロップアウトを防ぐことを目的とする。
3. 地理情報システムやWebシステムの研究、初心者向けのプログラミングセミナーやAndroid開発講座の運営を通じて、学内の学生だけでなく県内の高校生や中学生、さらに一般市民に対しても情報技術の魅力を伝える取り組みを実施、またそれを学部での学生教育にフィードバックさせることに取り組む。ワープロ+表計算+プレゼンツールの道具教育ではない、本来の情報教育の重要性について、学内外に発信する取り組みを行う。
4. 和島とともに創作ゼミナール(3年生)と卒業研究(4年生)を2研究室合同で実施、学生間の交流を活性化させるとともに、プロジェクトベースの研究によって成果の高度化をはかる。また複数担当者による学生ケアの充実に取り組む。

### [研究活動]

#### [研究テーマ]

- (1) デジタルコンテンツに関する研究
- (2) 地理情報システムに関する研究
- (3) Webシステム・モバイルシステムに関する研究
- (4) プログラミング教育に関する研究
- (5) デジタルマーケティングに関する研究

#### [著書、論文、総説]

1. “斜め写真の画像データ処理と活用に関する研究”，角田均・和島茂，青森大学研究紀要第37巻第3号(2015年2月)。

2. “学生のセルフ・マネジメントのためのゲーミフィケーション・プラットフォーム A0Ca の設計と実装”, 小久保温・角田均・伊藤匠・織田将史・三上絢佳・今北斗・柏谷至・工藤雅世・坂田令, 青森大学総合研究所紀要(2015. 3. 31).
3. “水辺のすこやかさ指標プラットフォーム Web アプリの開発” 角田均・三上一, 日本水環境学会誌 2023 年 2 月号特集企画(2023/02)

#### [学会発表]

1. “水辺のすこやかさ指標調査のデータベース構築と公開”, 角田均,北谷優典,大坂稜弥,他, 第54回日本水環境学会年会, 岩手大学(2020/03/17)
2. "3DCGとホログラム技術の応用と検証 ～ユニフォームシミュレータと3Dブロック崩し～", 清水琢己, 角田均, 芸術科学会東北支部研究大会(岩手大学/オンライン), 2022/01/22
3. "静的サイトジェネレータの比較 - 生成されたWebサイトのデザインと機能から-", 佐々木陽平, 角田均,芸術科学会東北支部研究大会(岩手大学/オンライン), 2022/01/22
4. "Webアプリを用いた沖館川の水辺のすこやかさ調査について", 三上一, 角田均, 他, 第56回日本水環境学会年会(富山大学/オンライン), 2022/03/17
5. "高等学校情報Iにおけるプログラミング授業モデル", 四戸洸大, 角田均, 情報処理学会第85回全国大会(東京電通大), 2023/03/02
6. “Google Maps APIを利用した散歩ルート提案アプリの開発”, 松尾圭翔, 角田均, 情報処理学会東北支部研究会(弘前大学), 2024/02/19
7. “Google Cloud Vision APIを用いたレシートOCRアプリの開発”, 横濱温人, 角田均, 情報処理学会東北支部研究会(弘前大学), 2024/02/19
8. “Unityを活用した研究”, 奥崎弥, 古川弥音, 角田均, 芸術科学会東北支部研究会(青森県立美術館), 2024/03/02

#### [その他の活動]

##### [公開講座、講演、セミナー]

1. 弘前南高校 SSH クラス向け特別授業「データの分析と処理 科学研究に必要な統計学」(2020/08/26)
2. 令和 2 年度東北地区 SSH 教員報告会「新しい時代の学校の姿を考える～オンライン授業とリモートワークの実践経験を通じて感じたこと～」(2020/10/10)
3. 角田均, 「オンライン授業の実施検証と応用研究」, 2020 年度青森大学教育研究プロジェクト中間報告(2020/12/14)
4. 令和 2 年度青森大学附属総合研究所シンポジウム「IT の描く未来」(2021/02/19)
5. 角田均, 「みずしるべ調査成果共有プラットフォームの運用と活用」, 2020 年度

- 日本水環境学会東北支部第 7 回「水辺のすこやかさ指標」ワークショップ  
(2021/03/26)
6. 角田均, みずしるべ調査における Web アプリの活用と成果の共有, 日本水環境学会東北支部 第 8 回「水辺の健やかさ指標」ワークショップ(東北工業大学/オンライン), 2022/03/23
  7. 角田均, プログラミングをはじめよう!, 青森大学オープンカレッジ, 2021/07/02
  8. 角田均, データの分析と処理～科学研究に必要な統計学, 弘前南高校 SSH クラス特別授業, 2022/07/07
  9. 「プログラミングを教える仕事」小学生向けプログラミング体験教室, ジョブキッズあおもり 2023(青森大学), 2022/08/19
  10. 角田均, 水環境活動/水環境学習における IT の活用～可視化・保存・共有～, 日本水環境学会東北支部セミナー, 2022/11/26
  11. 角田均, デジタルマーケティングの基礎, 弘前実業高校情報処理科特別授業, 2022/12/15
  12. 「プログラミングを教える仕事」小学生向けプログラミング体験教室, ジョブキッズあおもり 2023(青森大学), 2023/08/18
  13. 「はじめてのプログラミング教室」小学生向けプログラミング教室, 平内町家庭教育講座(平内町立山村開発センター), 2023/10/14
  14. 「小規模大学でもできる! 青森大学の DX への挑戦!」, 大学 ICT 推進協議会 2023 年度年次大会(名古屋国際会議場), 2023/12/13
  15. 「青森大学(地方・小規模)の IT 化と DX 導入・整備～混乱・崩壊～再構築・DX へ」, U2A 研究会(VisLab OSAKA/遠隔), 2023/12/15
  16. 「遠隔授業の IT 技術の利用及び遠隔授業方法の向上に資する研究」, 青森大学教育研究プロジェクト成果報告会, 2024/03/21

#### [学内各種委員]

情報化推進センター(2020 年 - 、センター員)、副学長、東京キャンパス長